

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	藤田 真頼
主な担当科目	コンチェルト実習,演奏会実習,室内楽Ⅰ,室内楽Ⅱ,室内楽特別演習①,室内楽特別演習②,修士オーケストラ・スタディ①,修士オーケストラ・スタディ②,修士室内楽特別演習①,修士室内楽特別演習②,器楽
2025年の教育目標・授業に臨む姿勢	外国人の学生など多様性に対応できるよう、個々の学生に沿った指導、教育を試みた。また、学生に過度の課題を施し負担に感じさせぬように、効率良い指導を心がけ、体力的、精神的に無理を感じさせない指導で、少しずつでも確実に進歩、上達を学生個々が体感できるように心がけた。
2025年の教育に関する自己評価	基礎技術、能力の大切さを学生たちが実感してくれたのは大きな収穫と感じる。自分の専門のフルート以外の学生達、例えばピアノ、ほかの木管の学生達とも室内楽を通して、音楽の共通の喜びを感じられ充実した授業を進められたことが良い部分として記憶に残った。
2025年のFD活動に関する自己評価	学内の全体FDに出席し、学長、理事長、副理事長の講話を参考にした。その後、弦管打部会のFDでは、新年度からの新しい Semester 制のカリキュラム、授業運用について、弦管打部会の非常勤の先生方への説明、議題作成、FD会議の司会を担当した。
授業改善のために取り入れた研修内容	授業時間が100分になったので時間の割り振りや、レッスン時間との都合合わせが難しく、対応に追われた。次年度に向けての課題となっている。

2025 年度(秋学期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2722 教員名:藤田 真頼

1)アンケート結果に対する所見

音楽活動研究では年 1 回『実践的プログラミング』のタイトルで自主演奏会を企画するために何が必要か、プロフィールの書き方、プログラムの作成、実際の演奏会のキャパに合わせたチケット料金、アルバイト、招待等、細かく例を挙げ授業をした。受講学生にはとても興味をもって受講してもらい手応えを感じた。

大学院室内楽特別演習では、自分の専門以外のピアノ、ギター等の学生とも深くコミュニケーションが取れ演奏に対する心構えやアプローチの方法を伝えられた。

2)要望への対応・改善方策

著作権問題等、自分の専門外の部分もあるので、他の授業をどのように補えるか連携を取れば良いと思うので、その辺は改善したいと思う。

3)今後の課題

時代が進み我々が学生のころと、社会も技術も大分変わり、新たな対応方法を学生と共に探っていきたい。

以 上